

海外短信

長崎県ソウル事務所紹介



鈴木 史朗*

事務所の紹介

長崎県ソウル事務所は2013年5月1日に韓国・ソウル市の中心部、光化門にある、日本の「自治体国際協会」の中にオープンしました。韓国の首都であるソウルのまさに中心に位置し、周りには韓国の官公庁、外国大使館、企業などが集中しています。自治体国際化協会とは全国の地方自治体がそれぞれ負担金を出して設立した財団法人で、日本の自治体が海外で活動する際の支援を目的としています。海外にソウルのほかに6か所の事務所を有し、自治体の様々なニーズにこたえています。

その事務所の一角に長崎県が事務所を設置し、私鈴木が所長として赴任し、現地のスタッフとともに、長崎県と韓国とのさまざまな分

野における橋渡しを果たすべく、取り組んでいるところです。

それでは、長崎県ソウル事務所の主な事業について簡単にお話ししたいと思います。

①県内への観光客誘致

長崎県は観光資源が多く、県内の経済活性化の一つとして、他地域からいかに多くの観光客にきてもらうかが大きな課題のひとつです。長崎県には韓国人に来てもらうための観光資源がいくつも存在します。たとえば、県内に点在する教会群。韓国は実に国民の3割をキリスト教徒が占めます。江戸時代の長いキリスト教への弾圧政策にもかかわらず、かたくなに信仰を守り続けたその姿は、国を越えて同じキリスト教徒に対して感動を与えるものでしょう。

また韓国は最近、トレッキングが流行しています。また、韓国釜山から50数キロしか離れていない対馬では多くの韓国人観光客が訪れていますが、その中には登山服を着て地元の自然を満喫する韓国人の姿をよく見かけます。

そういった長崎県がもつ観光の魅力を現地でPRするためにソウル事務所は各旅行代理店、韓国カトリック関係者などとのパイプを、また個人客向けにはホームページやブログを活用して情報発信を行っています。



事務所外観

*長崎県ソウル事務所長

②ビジネス展開の支援

長崎県は周りを海に囲まれている水産県です。都会では簡単に味わえないような新鮮な海の幸を気軽に楽しむことができます。また、それ以外にも、焼酎、地酒、カステラなどの魅力ある食材が豊富に存在します。そういったものの海外輸出を図る県内企業をサポートすることも大きな役割のひとつです。日本と韓国は味覚としては若干異なる部分があるものの、日本の寿司、おでん、酒などは広く韓国人の間で今や受け入れられています。

日本国内の経済成長の伸びが鈍化した現在、他国の市場へと展開することで安定した取引が組めれば、その後の企業の成長、ひいては県内経済の活性化につながるでしょう。長崎県の食材飲食店が今後増えて、より多くの韓国の人たちに長崎の味を楽しんでもらえればと思います。

また食品以外でも県内企業のサポートを行っています。これまでは海外市場に関心がありつつもきっかけがなかった企業がこれを契機に、積極的に海外に目を向けていただければと思っています。

③交流の促進

最近、日本のマスコミで報道されている通り、日本と韓国との間には政治的な軋轢が生じています。ですが、長崎県としてはこういった動きとは別にして、地方間交流、草の根の交流を今後ともしっかりと続けていきます。県内にも国際交流団体など韓国との交流をこれまで以上に積極的に行ってきた団体があります。今後長崎県ソウル事務所は国境を越えた人と人との交流についても積極的にサポートを行っていきます。

長崎県ソウル事務所のHPも作っていますので是非ご覧ください。

<http://seoul-nagasaki.com/ja/>

これから気候もだんだんと温かくなってきます。是非読者のみなさんも一度こちらにお越しになり、生の韓国を体験していただけたらと思います。